

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を11月3日に伊勢市表彰条例に基づき第12回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・ 多年選挙管理委員会委員として選挙の適正かつ円滑な管理執行に貢献された（1名）
- ・ 多年地区自治会長として地域住民の福祉の増進に寄与された（2名）
- ・ 多年学校医として児童の健康管理に尽力された（1名）
- ・ 多年学校歯科医として児童生徒の口腔衛生管理に尽力された（1名）
- ・ 多年本市のこども発達支援施設に通う児童の健康保持・増進に寄与された（1団体）
- ・ 多年消防団活動に献身的に尽力された（1名）
- ・ 伊勢市の防災啓発を推進するため多額の御寄贈をされた（1団体）
- ・ 公益のため多額の御寄附をされた（1名）
- ・ 伊勢市新病院整備基金へ多額の御寄附をされた（2名・6団体）

2 伊勢市民文化賞

- ・ 第29回全国高等学校情報処理競技大会個人の部で優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 第37回全国高等学校IT・簿記選手権大会FE部門団体の部で優秀な成績を収めた（1団体）
- ・ 平成28年度日本芸術院賞を受賞された（1名）
- ・ 第9回全国高等学校情報処理選手権個人部門で優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 第9回全国高等学校情報処理選手権ビギナー部門で優秀な成績を収めた（1名）
- ・ DANCE CUP 2017小学生部門で優秀な成績を収めた（1団体）

3 伊勢市民スポーツ賞

- ・ 第13回全国視覚障害者卓球大会サウンドテーブルテニスSTT-B男子の部で優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 第70回全日本総合バドミントン選手権大会男子シングルスで優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 多年スポーツ少年団指導者として伊勢市のスポーツ振興に寄与された（1名）
- ・ 第36回全日本ジュニアバドミントン選手権大会男子ダブルスで優秀な成績を収めた（1名）

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・ 旭日双光章 元町議会議員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元村議会議員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元市議会議員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）

- ・ 旭日小綬章、従五位 現市議会議員（地方自治功労）
- ・ 正六位 元町議会議員（地方自治功労）
- ・ 従五位 元市議会議員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）
- ・ 従五位 元市議会議員（地方自治功労）

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の興隆繁栄に寄与するため、次のとおり市長会に出席した。

1 全国市長会

開催年月日	会 議 名（主な議題）	開催地
29. 4. 12	全国市長会理事会 ① 講演「この国における社会保障の未来」 ② 地域の資源と資金を活用した事業化支援策等について ③ 諸会議の開催状況等について	東京都千代田区
29. 6. 6	全国市長会理事・評議員合同会議 ① 自治功労者の表彰について ② 第87回全国市長会議の日程及び運営について ③ 第87回全国市長会議への会則改正案等の提出について ④ 第87回全国市長会議への提出議案の取扱いについて ⑤ 第87回全国市長会議への提出決議案等について ⑥ 次期役員等の選任について ⑦ 森前会長に対する感謝決議（案）について	東京都千代田区
29. 6. 7	第87回全国市長会議通常総会 ① 会務報告 ② 平成27年度全国市長会決算報告について ③ 平成29年度全国市長会予算承認について ④ 全国市長会会則改正案等審議 ⑤ 各支部提出議案審議経過及び結果報告について ⑥ 決議案審議 ⑦ 役員改選	東京都千代田区

2 東海市長会

開催年月日	会 議 名 (主な議題)	開催地
29. 5. 17	第124回東海市長会通常総会 ① 平成28年度東海市長会会務報告について ② 平成28年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③ 平成29年度東海市長会歳入歳出予算について ④ 提出議案の審議 ⑤ 決議案の審議 ⑥ 役員改選	静岡県 伊豆の国市
29. 10. 13	第125回東海市長会通常総会 ① 提出議案の審議 ② 決議案の審議	岐阜県 岐阜市

3 三重県市長会

開催年月日	会 議 名 (主な議題)	開催地
29. 4. 25	三重県市長会4月定例会議 ① 平成29年度三重県市長会役員等の選任について ② 東海市長会三重県市長会提出議案等について ③ 会務報告について	津 市
29. 8. 1	三重県市長会8月定例会議 ① 平成28年度三重県市長会歳入歳出決算について ② 平成28年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について ③ 三重県市長会推薦役員の選出について ④ 東海市長会秋季通常総会開催市について ⑤ 平成30年度に向けた三重県への要望について ⑥ 第125回東海市長会通常総会要望について ⑦ 第125回東海市長会通常総会の開催日程について ⑧ 各団体からの市長会への要望等について (平和行政推進に関する要請書について、男女平等社会実現を求める要請書について、東日本大震災被災地への職員派遣の御礼とお願いについて、原爆死没者慰霊並びに平和祈念の黙とうについて) ⑨ 市長会の会務報告について	津 市

29. 10. 24	<p>三重県市長会10月定例会議</p> <p>① 平成30年度三重県市長会歳入歳出予算について</p> <p>② 平成30年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について</p> <p>③ 子ども医療費窓口無料化に係る特別要望について</p> <p>④ 市長会事務局長の選任について</p> <p>⑤ 市長会の会務報告について</p>	津 市
30. 2. 1	<p>三重県市長会2月定例会議</p> <p>① 三重県軽自動車税等事務共同処理協議会平成30年度業務委託契約締結について</p> <p>② 平成30年度三重県市長会役員等の選任について</p> <p>③ 第126回東海市長会提出議案の取扱いについて</p> <p>④ 三重県市長会次期事務局長の選任について</p> <p>⑤ 市長会の会務報告について</p>	伊勢市

情報調査室

○ 調査統計関係

1 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、市民アンケートを実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
29. 9. 6 ～29. 10. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象 平成14年4月1日以前にお生まれの方（平成29年度中に16歳以上となる方） ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出 ・調査方法 郵送による送付回収 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民自治、国際交流、男女共同参画、人権 ②生活困窮者自立支援制度、児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、里親制度、障害者差別解消法、こども発達支援 ③運動、スポーツ、文化振興、図書館 ④ごみの分別と食品ロスの削減 ⑤防災、防犯、消防 ⑥商業、消費生活、観光、 ⑦公園、河川・道路、中心市街地、景観 ⑧広報活動 ⑨伊勢市の住みやすさ ⑩取組み全体について 	回答者数 1,564人 回答率 44.7%

2 オープンデータの推進

「オープンデータ」とは、行政の透明性・信頼性の向上、市民と行政の協働促進及び地域経済の活性化を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで公開する取組で、平成28年12月12日に『伊勢市オープンデータの推進に関する指針』を策定、平成29年3月28日に『伊勢市オープンデータライブラリ』を公開し、平成29年度はデータの充実と利活用の推進に取り組んだ。

(1) 伊勢市オープンデータライブラリ

ア 新規登録データ 4項目

- ・おかげバス等の時刻表 平成29年6月公開
- ・ごみカレンダー 平成29年10月公開
- ・消防年報 平成30年1月公開
- ・消防水利 平成30年1月公開

イ 登録データ件数 20項目（平成30年3月31日現在）

ウ 市オープンデータを利活用したアプリ 2件（平成30年3月31日現在）

市オープンデータが民間業者によってスマートフォンアプリに利活用された。

ア プ リ 名	内 容
避難所検索@伊勢	現在地に近い避難所の位置を地図に表示するアプリ
全国水利台帳	火災現場や現在地に近い消防水利（消火栓・防火水槽）の位置を地図に表示するアプリ

(2) 職員研修の実施

オープンデータに関する理解を深めるため、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室が任命するオープンデータ伝道師を講師に招き、職員を対象に研修を実施した。

- ・日 時 平成 30 年 2 月 23 日 14 時～
- ・講 師 国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター准教授 庄司 昌彦 氏
- ・テーマ 「自治体がオープンデータを推進する意義と将来の展望」
- ・参加者 市職員 79 人

伊勢志摩定住自立圏を形成する市町の職員 4 人 計 83 人

(3) 宇治山田商業高校情報処理科の利活用事例

宇治山田商業高校と連携したオープンデータ利活用の取組として、同校情報処理科 3 年生が商業科目「ビジネス情報管理」の中で、週 2 時間、オープンデータの活用に加え、広く自分たちで収集した情報をもとに地域活性化について学習し、その学習成果を「伊勢市オープンデータを活用した地域活性化プラン」として、市長に報告した。

- ・平成 29 年 5 月 24 日 情報調査室による出前講座
- ・平成 29 年 7 月 13 日 市長への学習成果の中間報告会
- ・平成 30 年 1 月 11 日 市長への学習成果の最終報告会

3 工業統計調査

（調査周期：毎年、但し経済センサス-活動調査実施年の前年を除く。所管省庁：経済産業省）

我が国における工業の実態を明らかにし、その生産活動に関する基礎資料を得ることを目的として、日本標準産業分類に掲げる大分類 E（製造業）に属する事業所のうち、従業員数が 4 人以上の事業所に対して実施した。

- ・調査期日 平成 29 年 6 月 1 日
- ・調査対象事業所数 245 事業所

4 就業構造基本調査（調査周期：5 年 所管省庁：総務省）

国民の就業・不就業の実態を明らかにするとともに、国や都道府県における雇用政策、経済政策などの各種行政施策立案の基礎資料を得ることを目的として、国から指定された調査区の中から無作為に選定した世帯に対して実施した。

- ・調査期日 平成 29 年 10 月 1 日
- ・調査対象世帯数 675 世帯

5 住宅・土地統計調査単位区設定（調査周期：5 年 所管省庁：総務省）

平成 30 年 10 月 1 日を調査期日とする住宅・土地統計調査の実施に当たり、調査員の担当地域を明確にし、調査が円滑に実施できるよう調査区の設定を行った。

- ・設定期日 平成 30 年 2 月 1 日
- ・調査区数 191 調査区

6 三重県人口推計調査（調査周期：毎月）

国勢調査による人口、男女数及び世帯数を基準に、住民基本台帳における異動を加減して、毎月の人口を推計した。

平成 30 年 3 月 1 日現在

総人口	男	女	世帯数
125,360 人	59,295 人	66,065 人	51,363 世帯

7 学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

学校教育行政上の基礎資料を得るため、平成 29 年 5 月 1 日現在における、市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校等の児童・生徒数、教職員等を調査した。

なお、中学校については卒業後の進路を、私立学校については学校施設等を併せて調査した。

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童・生徒数	教員数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公立	園・校 9	人 215	人 16	人 -
	私立	9	613	83	13
幼保連携型 認定こども園	公立	1	104	24	4
	私立	4	827	94	14
小学校	公立	23	6,398	436	56
中学校	公立	11	3,317	252	31
	私立	1	138	16	13
計		58	11,612	921	131

8 市勢統計要覧の作成

伊勢市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の基本的統計データを収録した「2017 年（平成 29 年）版市勢統計要覧」を作成した。

また、e-Stat（政府統計の総合窓口）、みえ DataBox（三重県所管の統計情報）からデータを収集し、市ホームページで公開している伊勢市統計データベースを更新した。

9 各種統計調査結果の情報発信

市が保有する統計調査結果について、市民にわかりやすく情報発信するため、データの整理とグラフ化を行い、解説を加えた統計レポートを 2 回発行した。

- ・平成 27 年国勢調査の小地域集計結果について
- ・平成 26 年工業統計調査・平成 28 年経済センサス-活動調査の伊勢市の製造業について

10 統計調査員の推薦

各種統計調査を実施するにあたり、三重県に対して調査員の推薦を行った。

- ・労働力調査 4 名
- ・毎月勤労統計調査 4 名
- ・商業動態統計調査 2 名
- ・国民生活基礎調査 1 名

11 統計調査員の確保対策

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録し、統計調査員を確保することを目的として、広報いせ、市ホームページ等で募集を行った。

- ・平成 29 年度登録者数 16 名（平成 30 年 3 月 31 日現在 294 名）

○ 行政改革関係

1 公共施設マネジメント事業

公共施設及びインフラ資産における各施設の今後の管理方針を示す施設類型別計画について、附属機関である施設類型別計画検討委員会や公共施設の方向性に関する意見交換会でいただいた意見を踏まえ、公共施設等マネジメント推進会議において全庁的な協議・調整を行い、策定を進めた。

(1) 伊勢市施設類型別計画検討委員会実施結果

回数 (※)	実施日	内容
第 6 回	29. 6. 6	・公共施設の方向性に関する意見交換会について
第 7 回	29. 7. 31	・公共施設の方向性に関する意見交換会について ・学校跡地利用検討部会における協議事項の報告
第 8 回	29. 11. 21	・公共施設の方向性に関する意見交換会について ・施設類型別計画（案）について
第 9 回	29. 12. 12	・施設類型別計画（案）について

※第 1 回～第 5 回の伊勢市施設類型別計画検討委員会は平成 28 年度に実施

(2) 公共施設等マネジメント推進会議実施結果

回数	実施日	内容
第 1 回	29. 5. 25	・公共施設の方向性に関する意見交換会について
第 2 回	29. 8. 1	・公共施設の方向性に関する意見交換会について ・学校跡地利用検討部会における協議事項の報告
第 3 回	29. 11. 27	・施設類型別計画（案）について
第 4 回	29. 12. 21	・施設類型別計画（案）について

(3) 意見交換会の実施

施設類型別計画の策定に向けて、地域審議会、総連合自治会、まちづくり協議会を対象とした意見交換会を実施した。また、意見交換を円滑に進めるため、要点を「事前アンケート」に整理して実施した。

- ・内 容 「施設類型別計画策定の考え方」などについて説明を行い、個々の施設に対する意見・要望ではなく、公共施設の方向性を導く考え方やインフラ資産整備の優先度判定について意見を聞いた。

- ・開催日数 平成 29 年 4 月 18 日から平成 29 年 9 月 26 日のうち延べ 28 日間

- ・参加者 延べ 390 名
- ・アンケート回答率 86.6%

(4) 公共施設カルテ及びインフラ資産カルテの公表

市民との情報の共有を図るため、本市が保有する公共施設及びインフラ資産の管理情報等を整理した「公共施設カルテ」及び「インフラ資産カルテ」を公表した。

- ・公表時期 平成 29 年 4 月
- ・公表方法 市ホームページへの掲載及び閲覧用として本庁舎、各総合支所へ設置
- ・作成基準日 平成 28 年 4 月 1 日

(5) 広報いせへの掲載

公共施設等総合管理計画を推進するにあたっては受益者の理解が必要であるため、計画の内容や必要性について、市民の理解を得られるよう周知を行った。

掲 載 号	内 容
7月1日号	・老朽化する公共施設「公共施設が抱える大きな問題」
8月1日号	・老朽化する公共施設「これからの公共施設の在り方」

(6) 公共施設カルテ管理システムの導入

公共施設カルテの管理・更新を効率的に行うため、公共施設カルテ管理システムを導入した。

- ・導入日 平成 30 年 3 月 9 日
- ・導入経費 1,317,600 円

2 行財政改革推進事業

(1) 行財政改革指針取組項目の進行管理

平成26年度に策定した行財政改革指針に基づく取組項目（取組期間：平成29年度までの4年間）の進行管理を行った。

担当所属から平成 28 年度の実績結果を取りまとめ、伊勢市行政改革推進委員会及び市議会（各常任委員協議会）に報告した。また、この取組結果については、ホームページで公表した。

(2) 次期行財政改革の取組の検討

行財政改革指針に基づく取組項目が平成 29 年度末で終了するため、平成 30 年度以降の行財政改革の取組について検討した。

(3) 行政改革推進委員会実施結果

回 数	実 施 日	内 容
第 1 回	29. 5. 15	・行財政改革指針に基づく取組項目の平成 28 年度実施結果について
第 2 回	30. 3. 23	・次期行財政改革について ・委員の任期について

(4) 市民サービス向上のための窓口業務等の改善

市民サービスの向上を目指し、庁内に設置した窓口業務等検討会において、庁舎改修後の市役所 1 階の案内表示等について管財契約課との意見交換を行った。

企 画 調 整 課

1 伊勢市ふるさと応援寄附金

平成20年4月30日に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充（「ふるさと納税」の導入）されたことを受け、同年7月4日に「伊勢市ふるさと応援寄附金」制度を導入し、本年度も引き続き寄附の受入を行った。

- ・ 寄附受領件数： 1,529 件
- ・ 寄附受領金額： 40,742,518 円
- ・ 受領した寄附の目的別内訳

事業区分（活用先）	件数	金額
命を最優先に考えるまちづくり	154	3,874,000
やさしさと感謝の気持ちを継承するまちづくり	173	4,916,438
豊かさを実感できるまちづくり	89	1,838,000
市民がまちに誇りを持ち、観光と市民生活が調和したまちづくり	264	6,126,000
市立伊勢総合病院の充実	146	4,067,000
育英基金	218	5,962,000
市政全般（特に指定しない）	475	13,292,372
具体的に用途を指定したい方、複数目的指定	10	666,708
計	1,529	40,742,518

2 第3次伊勢市総合計画の策定

本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その理念に基づく市政運営のあり方を示すものとして、第3次伊勢市総合計画の策定作業を行った。

（1）総合計画審議会の開催

伊勢市総合計画条例に基づき、学識経験者、公共的団体等の代表者、関係行政機関の職員15名で構成する伊勢市総合計画審議会を設置し、諮問した。

- ・ 任 期：平成29年6月20日～平成31年6月19日
- ・ 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 29. 6. 20	・ 正副会長選出、諮問ほか	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
【第2回】 29. 8. 31	・ 基本構想に係る意見交換	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室

【第3回】 29. 10. 2	・ 第2次総合計画の進行管理について ・ 基本構想（案）について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
【第4回】 29. 12. 4	・ 今後のスケジュールについて ・ 基本構想（修正案）について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
【第5回】 29. 12. 19	・ 基本構想（修正案②）について ・ 前期基本計画の取組方針（案）について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
【第6回】 30. 1. 23	・ 序論～基本構想（案）について ・ 前期基本計画（案）について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
【第7回】 30. 2. 1	・ 前期基本計画（案）について	伊勢市生涯学習センター 研修室1・2
【第8回】 30. 2. 13	・ 基本構想・前期基本計画（案）について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
【第9回】 30. 2. 23	・ 基本構想・前期基本計画（修正案）について ・ 答申に向けての意見交換	伊勢商工会議所 大ホール

(2) 総合計画策定に係る市民意識等の把握

伊勢市総合計画策定に向けた市民意識調査	調査対象：市内在住の平成29年度中に16歳～80歳となる方 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出 調査方法：郵送による送付回収 調査期間：平成29年5月10日～5月24日 調査項目：伊勢市全体のまちづくりの方向性に対する希望、まちづくりへの意見等 回答数：1,155通（発送数3,500通、回答率33%）
伊勢市総合計画策定に係るワークショップ	内 容：市の目指すべき将来像等を語る住民参加のワークショップ 参加対象：総合計画策定に向けた市民意識調査回答者のうち希望者 実 施 日： ①29. 7. 29（土）午後1時30分～ 伊勢市生涯学習センター（10人参加） ②29. 7. 31（月）午後1時30分～ ハートプラザみその（6人参加） ③29. 7. 31（月）午後7時～ ハートプラザみその（8人参加）

3 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理

まち・ひと・しごと創生法に基づき、「伊勢市人口ビジョン」を踏まえて策定した「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理を行うため、産官学金労言の各分野15名の関係者で構成される伊勢市まち・ひと・しごと創生会議において、取組の進捗状況の確認及び市の現状について意見交換等を実施した。

【伊勢市まち・ひと・しごと創生会議】

- (1) 委員
- ・ 構成 : 15名
 - ・ 任期 : 平成28年6月28日～平成30年6月27日

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】 29. 6. 28	・ 諮問 ・ 地方創生加速化交付金を活用した事業の効果検証について	伊勢市労働福祉会館 2階大会議室
29. 7. 11	・ 答申	—
【第2回】 29. 11. 15	・ 諮問 ・ 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
29. 12. 5	・ 答申	—

4 総合教育会議の開催

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育等の振興を図るため、重点施策等について協議・調整を行った。

【伊勢市総合教育会議】

(1) 構成・・・市長及び教育委員会

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】 29. 11. 24	・ 平成30年度教育施策及び予算について ・ 子どもの貧困対策について	小俣公民館 2階学習室

5 定住自立圏構想の推進

定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更及び進行管理を行った。

また、圏域市町の首長を構成員とする伊勢志摩定住自立圏推進協議会において、圏域の課題及び次期伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンに係る協議を行った。

【伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会】

(1) 委員 ・ 構成 : 17名
・ 任期 : 平成29年4月1日～平成31年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】 29. 5. 22	・ 委員委嘱 ・ 正副会長の選出 ・ 伊勢志摩定住自立圏の推進体制等について ・ 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン変更(案)について ・ 圏域の現状と課題について	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室

【第2回】 29. 12. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・各取組の進捗 ・ご当地ナンバー等の導入に係る取組について ・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの策定（案）について ・圏域の現状と課題について 	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室
-----------------	--	------------------------------

【伊勢志摩定住自立圏推進協議会】

(1) 委員 ・ 構成 : 各市町長 8 名

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 29. 12. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの取組状況について ・第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの策定（案）について ・伊勢志摩定住自立圏の情報交換及び提案 	志摩市商工会館 1階多目的ホール

6 伊勢地区地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき、合併前の旧4市町村の協議により旧市町村の区域を単位として設置が定められた地域審議会のうち、旧伊勢市の区域に係る伊勢地区地域審議会を次のとおり開催した。

【伊勢地区地域審議会】

(1) 委員 ・ 構成 : 20名（うち公募委員5名）
 ・ 任期 : 平成28年4月1日～平成30年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 29. 4. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の変更について ・公共施設の方向性に関する意見交換 	本庁舎 4-5 会議室

7 宮川流域連携

宮川流域ルネッサンス協議会（平成12年6月9日設立：1市6町、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会）に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動に取り組んだ。

【活動状況】

- ・宮川親子デイキャンプ（対象者：小学1～4年生の児童とその保護者）
開催日：平成29年7月29日（土） 場所：度会町
- ・宮川流域子ども川サミットin大台（対象者：小学5～6年生）
開催日：平成29年8月17日（木） 場所：大台町
- ・宮川流域で植樹をしよう！
実施日：平成29年12月10日（日） 場所：大台町
- ・宮川プロジェクト活動報告会&講演会
開催日：平成30年3月3日（土） 場所：伊勢市

・水質チェックの実施

実施日：平成29年5月～平成30年2月の最終日曜日 場所：宮川流域23か所

8 広告事業

本市が所有する有形・無形の様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

- ・実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、じん芥収集車（ラッピング広告）、ごみカレンダー、雑誌スポンサー、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、伊勢フットボールヴィレッジ広告看板

・収入金額：7,583,000円

9 シティプロモーション

本市が市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるよう、平成28年2月に策定した「伊勢市シティプロモーション推進計画」に従い、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指す各種取組を行った。

(1) 伊勢市移住・Uターン応援ガイド概要版作成

平成28年度に開催した「伊勢市のシティプロモーションを考えるワークショップ」において出された意見を参考に、移住者の声、東京からのアクセス、市の補助制度に記載内容を絞った伊勢市移住・Uターン応援ガイド概要版を作成、都市圏において配置するなど、伊勢市への移住の促進・PRを図った。

(2) 伊勢市情報発信紙芝居制作

市民アイデンティティの向上及びシビックプライドの醸成を目的に、本市にゆかりのある民話を題材とした紙芝居2本（蘇民将来、犬のおかげ参り）を制作、児童向けの読み聞かせ用として、図書館に配置した。

(3) 伊勢志摩ナンバー及び図柄入りナンバープレート導入の検討

シティセールスの取組の一つとして、伊勢志摩ナンバー及び図柄入りナンバープレートの導入に向けた検討を行うため、市民3,500人（18歳以上の無作為抽出）に対し伊勢志摩ナンバー等の導入に係るアンケートを実施した。1,733人から回答があり、77.5%が伊勢志摩ナンバー導入に賛成、67.8%が図柄入りナンバープレートを希望するとの結果であった。

(4) サミット記念ベンチの製作

本市とサミット（先進7か国首脳会議）のつながりを観光客にPRするとともに、子どもたちの記憶に残るよう、朝熊町地内の三重県営サンアリーナ横に設置された国際メディアセンター（IMC）アネックスで使用された木材を再利用してサミット記念ベンチを88脚製作し、市内小・中学校等37か所に設置した。

ベンチには、当地域でサミットが開催されたことを示す説明板を取り付けた。

※建築住宅課へ執行委任

財 政 課

1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分	当初予算額 29. 3. 27 議決	補 正 予 算 額		
		29. 7. 12 議 決	29. 9. 29 議 決	29. 10. 2 専 決
一 般 会 計	51,914,576	①109,375	②25,800	③74,046
特 別 会 計	国民健康保険	15,555,747		
	後期高齢者医療	2,969,649		
	介 護 保 険	13,299,620		
	住宅新築資金等 貸 付 事 業	7,165		
	観 光 交 通 対 策	501,132		
	土 地 取 得	1,046,850		
	計	33,380,163		
合 計	85,294,739	109,375	25,800	74,046

補 正 予 算 額				
29. 11. 9 専 決	29. 12. 25 議 決	29. 12. 25 議 決	29. 12. 25 議 決	30. 3. 26 議 決
④190,200	⑤674,805	⑥651,229	⑦50,634	⑧△2,078,910
	①120,103		②756	③△459,337
	①△2,474		②269	③93,461
	①114,676		②1,030	③△106,558
				①2,226
				①113,564
				①△890,112
	232,305		2,055	△1,246,756
190,200	907,110	651,229	52,689	△3,325,666

区 分	補正予算額	継続費 通次 繰越額	繰越 明許費 繰越額	予算総額
	30. 3. 26 議 決			
一 般 会 計	⑨198,852	37,202	2,423,693	54,271,502
特 別 会 計	国民健康保険			15,217,269
	後期高齢者医療			3,060,905
	介 護 保 険			13,308,768
	住宅新築資金等 貸付事業			9,391
	観光交通対策			614,696
	土 地 取 得			156,738
	計			32,367,767
合 計	198,852	37,202	2,423,693	86,639,269

※○内の数字は、補正の回数を表す。

2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

(1) 普通交付税 9,754,585 千円

(合併算定替)

- ・基準財政需要額 23,948,452 千円
- ・基準財政収入額 14,174,974 千円
- ・交付基準額 9,773,478 千円
- ・調整額 △18,893 千円
- ・交付決定額 9,754,585 千円

(2) 特別交付税 968,356 千円

3 市債の状況

一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計における市債の借入れの状況は、次のとおりであった。

(1) 年度末現在高

会 計 名	平成 29 年度 末 現 在
一 般 会 計	53,638,726 千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	6,461
計	53,645,187

(2) 借入状況 (一般会計)

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借入利率	備考
市町村合併特例事業債	千円 32,000	30. 3. 26	市有物件災害共済	% 0.01	
	255,000	30. 3. 30	市町村職員共済組合	0.01	
	305,000	30. 4. 20	市町村振興協会	0.20	
	340,900	30. 5. 30	伊勢農業協同組合	0.28	
	736,200	30. 5. 30	〃	0.28	前借
	317,300	30. 5. 30	〃	0.35	前借
	82,600	30. 5. 30	〃	0.28	借換
	1,340,600	30. 5. 30	〃	0.35	借換
水道事業出資債	43,000	30. 3. 29	地方公共団体金融機構	0.20	借換
土地改良事業債	8,900	30. 5. 7	財務省	0.04	
	2,100	30. 5. 7	〃	0.07	前借
街路整備事業債	2,400	30. 5. 7	〃	0.07	前借
漁港整備事業債	4,200	30. 5. 7	〃	0.07	前借
	10,100	30. 3. 26	〃	0.20	借換
地域活性化事業債	29,200	30. 5. 30	地方公共団体金融機構	0.06	
学校教育施設等整備事業債	149,200	30. 5. 30	伊勢農業協同組合	0.28	前借
	117,000	30. 5. 7	財務省	0.40	前借
	13,400	30. 3. 26	〃	0.20	借換
緊急防災・減災事業債	78,300	30. 5. 30	伊勢農業協同組合	0.28	
	327,000	30. 5. 30	〃	0.28	借換
道路橋梁災害復旧事業債	1,200	30. 5. 7	財務省	0.01	前借
河川災害復旧事業債	5,300	30. 5. 7	〃	0.01	前借
公立学校施設災害復旧事業債	3,100	30. 5. 7	〃	0.01	
臨時財政対策債	1,980,000	30. 5. 7	〃	0.01	
計	6,184,000	—	—	—	

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区分	平成 29 年度		平成 28 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 市 税	千円 16,803,632	% 33.0	千円 16,828,142	% 33.0	千円 △24,510	% △0.1
(1) 普通税	15,349,509	30.1	15,371,484	30.1	△21,975	△0.1
(2) 目的税	1,454,123	2.9	1,456,658	2.9	△2,535	△0.2
2 地方譲与税	333,892	0.7	334,737	0.7	△845	△0.3
3 利子割交付金	39,437	0.1	28,079	0.0	11,358	40.5
4 配当割交付金	98,598	0.2	68,780	0.1	29,818	43.4
5 株式等譲渡所得割交付金	97,674	0.2	40,459	0.1	57,215	141.4
6 地方消費税交付金	2,225,413	4.4	2,146,417	4.2	78,996	3.7
7 ゴルフ場利用税交付金	16,423	0.0	16,962	0.0	△539	△3.2
8 自動車取得税交付金	121,293	0.2	89,160	0.2	32,133	36.0
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	82,334	0.2	80,172	0.2	2,162	2.7
10 地方特例金交付金	73,897	0.1	70,252	0.1	3,645	5.2
11 地方交付税	10,722,941	21.0	10,793,194	21.2	△70,253	△0.7
(1) 普通交付税	9,754,585	19.1	9,822,548	19.3	△67,963	△0.7
(2) 特別交付税	968,356	1.9	970,646	1.9	△2,290	△0.2
12 交通安全対策特別交付金	15,630	0.0	17,113	0.0	△1,483	△8.7
13 分担金及び負担金	876,157	1.7	939,343	1.8	△63,186	△6.7
14 使用料及び手数料	361,745	0.7	388,008	0.8	△26,263	△6.8
15 国庫支出金	6,391,961	12.5	7,010,524	13.7	△618,563	△8.8
16 県支出金	3,313,911	6.5	3,028,643	5.9	285,268	9.4
17 財産収入	241,039	0.5	131,615	0.3	109,424	83.1
18 寄附金	74,742	0.1	83,737	0.2	△8,995	△10.7
19 繰入金	55,286	0.1	56,738	0.1	△1,452	△2.6
20 繰越金	600,066	1.2	1,667,926	3.3	△1,067,860	△64.0
21 諸収入	2,270,618	4.5	1,040,339	2.0	1,230,279	118.3
22 市債	6,184,000	12.1	6,153,500	12.1	30,500	0.5
歳入合計	51,000,689	100.0	51,013,840	100.0	△13,151	0.0

イ 歳出（目的別）

区分	平成 29 年度		平成 28 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 議会費	千円 339,032	% 0.7	千円 350,271	% 0.7	千円 △11,239	% △3.2
2 総務費	5,430,800	10.8	4,440,229	8.9	990,571	22.3
3 民生費	18,827,897	37.6	17,933,466	35.9	894,431	5.0
4 衛生費	5,992,722	12.0	4,811,117	9.6	1,181,605	24.6
5 労働費	54,933	0.1	59,701	0.1	△4,768	△8.0
6 農林水産業費	961,789	1.9	882,020	1.8	79,769	9.0
7 商工費	380,658	0.8	398,103	0.8	△17,445	△4.4
8 観光費	600,307	1.2	557,591	1.1	42,716	7.7
9 土木費	4,562,877	9.1	5,164,208	10.3	△601,331	△11.6
10 消防費	2,573,784	5.1	2,902,337	5.8	△328,553	△11.3
11 教育費	4,710,958	9.4	7,002,907	14.0	△2,291,949	△32.7
12 災害復旧費	151,757	0.3	41,458	0.1	110,299	266.0
13 公債費	5,492,092	11.0	5,420,367	10.9	71,725	1.3
14 諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	50,079,606	100.0	49,963,775	100.0	115,831	0.2

ウ 歳出（性質別）

区分	平成 29 年度		平成 28 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 人 件 費	千円 7,814,136	% 15.6	千円 7,964,238	% 15.9	千円 △150,102	% △1.9
2 物 件 費	7,355,851	14.7	7,246,383	14.5	109,468	1.5
3 維持補修費	359,560	0.7	415,313	0.8	△55,753	△13.4
4 扶 助 費	11,047,503	22.1	10,647,236	21.3	400,267	3.8
5 補 助 費 等	3,345,314	6.7	3,365,331	6.7	△20,017	△0.6
6 普 通 建 設 費 事 業 費	4,385,472	8.7	6,966,163	14.0	△2,580,691	△37.0
(1) 補助事業費	1,252,824	2.5	2,462,051	4.9	△1,209,227	△49.1
(2) 単独事業費	3,029,779	6.0	4,365,690	8.8	△1,335,911	△30.6
(3) 事業負担金	102,869	0.2	138,422	0.3	△35,553	△25.7
7 災 害 復 旧 費 事 業 費	153,792	0.3	46,598	0.1	107,194	230.0
(1) 補助事業費	38,138	0.1	38,774	0.1	△636	△1.6
(2) 単独事業費	115,654	0.2	7,824	0.0	107,830	1,378.2
8 失 業 対 策 費 事 業 費	0	0	0	0	0	-
(1) 補助事業費	0	0	0	0	0	-
(2) 単独事業費	0	0	0	0	0	-
9 貸 付 金	2,130	0.0	3,990	0.0	△1,860	△46.6
10 公 債 費	5,492,092	11.0	5,420,367	10.9	71,725	1.3
11 投 資 及 び 出 資 金	1,700,900	3.4	278,700	0.6	1,422,200	510.3
12 積 立 金	928,035	1.8	160,119	0.3	767,916	479.6
13 繰 出 金	7,494,821	15.0	7,449,337	14.9	45,484	0.6
歳 出 合 計	50,079,606	100.0	49,963,775	100.0	115,831	0.2

エ 一般会計決算の市民1人当たりの額

(平成30年3月31日現在人口 127,064人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額
市 税	千円 16,803,632	円 132,245	消 費 的 経 費	千円 29,922,364	円 235,490
地 方 譲 与 税	333,892	2,628	人 件 費	7,814,136	61,497
利 子 割 交 付 金	39,437	310	物 件 費	7,355,851	57,891
配 当 割 交 付 金	98,598	776	維 持 補 修 費	359,560	2,830
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	97,674	769	扶 助 費	11,047,503	86,944
地 方 消 費 税 交 付 金	2,225,413	17,514	補 助 費 等	3,345,314	26,328
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,423	129	投 資 的 経 費	4,539,264	35,725
自 動 車 取 得 税 交 付 金	121,293	955	普 通 建 設 事 業 費	4,385,472	34,515
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	82,334	648	災 害 復 旧 事 業 費	153,792	1,210
地 方 特 例 交 付 金	73,897	582	失 業 対 策 事 業 費	0	0
地 方 交 付 税	10,722,941	84,390	そ の 他 の 経 費	15,617,978	122,914
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	15,630	123	貸 付 金	2,130	17
分 担 金 及 び 負 担 金	876,157	6,895	公 債 費	5,492,092	43,223
使 用 料 及 び 手 数 料	361,745	2,847	投 資 及 び 出 資 金	1,700,900	13,386
国 庫 支 出 金	6,391,961	50,305	積 立 金	928,035	7,304
県 支 出 金	3,313,911	26,081	繰 出 金	7,494,821	58,984
財 産 収 入	241,039	1,897			
寄 附 金	74,742	588			
繰 入 金	55,286	435			
繰 越 金	600,066	4,723			
諸 収 入	2,270,618	17,870			
市 債	6,184,000	48,668			
歳 入 合 計	51,000,689	401,378	歳 出 合 計	50,079,606	394,129

5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 14,439,959	千円 477,850	千円 14,917,809
減 債 基 金	現 金	1,162,690	858	1,163,548
ふ る さ と 創 生 基 金	現 金	796,867	831,217	1,628,084
国 際 交 流 基 金	現 金	60,000	3	60,003
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,564	1	10,565
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	439,903	1,542	441,445
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,991	1	7,992
地 域 福 祉 基 金	現 金	445,693	△30,491	415,202
災 害 援 護 基 金	現 金	106,572	237	106,809
中 山 間 水 と 土 保 全 対 策 基 金	現 金	47,477	20	47,497
河 川 環 境 基 金	現 金	10,183	1	10,184
育 英 基 金	現 金	69,433	3,363	72,796
文 化 振 興 基 金	現 金	179,101	261	179,362
地 域 振 興 基 金	現 金	3,439,062	2,477	3,441,539
景 観 形 成 基 金	現 金	434,452	965	435,417
森 林 づ く り 基 金	現 金	2,043	13,180	15,223
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	97,769	21,264	119,033
計	現 金	21,749,759	1,322,749	23,072,508

広 報 広 聴 課

○ 広報いせ発行事業

「広報いせ」を毎月1日と15日（1月を除く）に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：205件、収入金額：2,860,000円）

発行号	頁数	発行部数	主 な 記 事
4月15日号	16	53,600	お伊勢さん菓子博2017「いせ舞台」5月4日（祝）は「伊勢の日」です、伊勢おかしめぐりスタンプラリーを開催します、子育てに関する困り事はありませんか？、発達障がいって何だろう？
5月1日号	40	53,650	特集 平成29年度施政方針と当初予算、伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画を見直しました、消防・防災フェスタいせ、2017イセ・コレ、「いせ健幸ポイント」参加者を募集します
5月15日号	20	53,700	伊勢市民芸能祭 出演団体を募集します、伊勢市オープンデータの利用を、結婚の希望を持つ従業員や地域の若者を応援しませんか
6月1日号	36	53,720	特集 バリアのない伊勢市を目指して、伊勢まつり 参加団体を募集！、出水期に備えて早めの対策を！、宮川の洪水浸水想定区域図、ママ安心サポートいせ、市役所本庁舎の改修工事に伴い休日・夜間窓口が移転します
6月15日号	24	53,760	健康文化週間の健康づくり講座&イベント、男女共同参画週間、市営プールがオープンします、下水道を利用しましょう、保存版 市の組織と主な仕事
7月1日号	40	53,800	特集 ごみゼロ推進、お伊勢さんプレミアム付商品券を販売、公共施設が抱える大きな問題、特定健康診査を受けましょう、別冊 花火特集
7月15日号	20	53,770	楽しく「いせの文化と歴史」を学ぼう!!、家庭と地域の力で子どもが生き生き輝く夏休みに！、新しい市立伊勢総合病院の「シンボルマーク」を募集します！

	頁	部	
8月 1日号	36	53,780	特集 伊勢の宝“朝熊山”、マイナンバーカードはとても便利です、児童扶養手当制度と現況届の提出について、「みえ消防団応援の店」制度が始まります！、これからの公共施設の在り方
8月15日号	16	53,720	救急・災害を考える集い、障がい者サポーター研修会を開催します
9月 1日号	36	53,700	特集 「いせトピア」おかげさまで20周年！、伊勢志摩定住自立圏の取り組み、9月21日は「国際平和デー」、まるっと一日れいんぼうフェスタ、おかげバスでお出掛けしませんか
9月15日号	16	53,700	動物愛護週間、障害者差別解消法を知っていますか？、JABA伊勢・松阪大会、「伊勢市空家バンク制度」を創設
10月 1日号	36	53,700	特集 空家の解消に向けて、伊勢市民芸能祭、環境フェア&福祉フェスティバル、三重交通Gスポーツの杜伊勢（陸上競技場）がリニューアルオープンします、ご当地ナンバーと地方版図柄入りナンバープレートの導入に向けて、別冊 おおまつりウィーク
10月15日号	20	53,700	伊勢病院ふれあいまつり、伊勢市子ども未来会議を開催、ストップ！障がい者・高齢者虐待
11月 1日号	36	53,710	特集 教えて！伊勢市の救急体制、民生委員児童委員の活動報告、広島平和記念式典参加中学生22人の思い、11月は児童虐待防止推進月間 みんなで守ろう！子どもの未来、平成30年度以降に適用される市・県民税の主な税制改正について
11月15日号	20	53,720	伊勢のものづくり祭典、野口みずき杯 2017 中日三重 お伊勢さんマラソン、障がい者サポーター研修会を開催します、救急普及啓発広報車が寄贈されました！、11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です
12月 1日号	32	53,740	特集 地震への備えは万全ですか？、特報 台風21号被害からの早期復旧に向けて、NHKのど自慢 出場者・観覧者募集、平成30年1月9日（火）から証明書コンビニ交付サービス開始、福祉などの計画について意見を募集します、平成30年度軽自動車税のお知らせ、市の人事行政の運営状況を公表
12月15日号	16	53,800	新しい伊勢総合病院のシンボルマークが決定しました！、笑顔つながる広がる「障がい者サポーター」、年末年始の業務案内、伊勢で決まる高校日本一 2018 彩る感動 東海総体
1月 1日号	32	53,820	特集 食べよう！伊勢の採れたてイチゴ、新春のごあいさつ、市勢の発展に尽力された功労者を表彰、いせファミリー・サポート・センター、啓発ポスター・標語でまちを元気に！

2月 1日号	頁 36	部 53,800	特集 だまされないで！特殊詐欺、美し国三重 市町対抗駅伝、笑顔があふれ 幸せに年を重ねられるように、いせ人権映画祭を開催、駐日外交団が伊勢志摩地域を訪問しました、市・県民税の申告 所得税の確定申告、まちの計画に対する意見を募集します
2月15日号	16	53,800	伊勢市国際交流フェスティバル、軽自動車に関するお知らせ
3月 1日号	28	53,830	特集 延ばそう！健康寿命、病児保育エンゼルのご利用を、国民健康保険制度が変わります！、平成29年火災・救急・救助の概要
3月15日号	16	53,820	みんなで桜を楽しもに！、「やさしいまち伊勢市」発見大賞の入賞作品を表彰、4月から市の組織が一部変わります、ヘルプマークを知っていますか？、いせ市民活動フェスティバル
4月 1日号	40	53,890	特集 データを基にまちづくりを推進、4月2日～8日は発達障害啓発週間です！、勢田川の洪水浸水想定区域図を公表、誰もが暮らしやすいまちを目指して、固定資産の評価替えをします

○ CATV広報いせ放送事業

行政情報番組〔お知らせ番組（毎週更新）と特集番組（毎月更新）〕を制作し放送した。特集番組は、タレントをリポーターとして起用し、分かりやすい番組づくりに努め、YouTubeへの掲載も行った。

また、平成29年9月1日から行政放送のハイビジョン化を行った。

・特集番組（毎月1日更新）

放送回数 1日8回（午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時）

月	タイトル	内容
4	平成29年度の主な事業の紹介	市長が平成29年度の事業について語る
5	歩く！貯める！交換できる！！「いせ健幸ポイント」～参加者募集のお知らせ～	「いせ健幸ポイント」の紹介と新規参加者募集を案内
6	いせコレクション〈文化・芸術・音楽の祭典〉の紹介	平成29年度に開催する各種文化芸術イベントを紹介
7	映像で振り返る「お伊勢さん菓子博2017」	平成29年4月21日から5月14日まで開催された「お伊勢さん菓子博2017」を映像で振り返る
8	災害時要援護者登録制度	災害時要援護者登録制度の概要、申請受付、地域における支援等を案内
9	伊勢市の地震・津波対策	平成29年3月に完成した二見町西津波避難タワー、磯町津波避難施設（マウンド）の紹介と備蓄物資について案内
10	伊勢市消防本部救急隊に密着	女性救急隊員、救命講習、救急ワークステーションの取り組み、救急車の適正利用について紹介

11	ふるさと未来づくり ～まちづくり協議会の取り組み～	まちづくり協議会事務局の紹介（豊浜東まちづくり協議会、豊西まちづくりの会）
12	障がい者サポーター制度	障がい者サポーター制度の紹介と障がいの特性等について紹介
1	平成30年市長インタビュー	市長が、これまでの取り組みや今後の市政運営などについて語る
2	伊勢市と大学の連携事業の紹介	皇學館大学との連携など、伊勢市の大学連携の取り組みを紹介
3	伊勢の農産物～青ねぎ～	伊勢市がブランド化に取り組む横輪いも、蓮台寺柿、トマト、イチゴ、かぼちゃ、青ねぎを紹介。今回は特に青ねぎを紹介

・お知らせ番組（毎週土曜日更新）

放送回数 1日8回（午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時）

月	内 容
4	お知らせ（春期の交通対策 など） まちの話題
5	お知らせ（伊勢総合病院事務職員募集 など） まちの話題
6	お知らせ（合併処理浄化槽への切り換えのお願い など） まちの話題
7	お知らせ（花火大会について など） まちの話題
8	お知らせ（福祉医療費受給資格証の更新について など） まちの話題
9	お知らせ（秋の全国交通安全運動 など） まちの話題
10	お知らせ（伊勢まつり など） まちの話題
11	お知らせ（市民芸能祭 など） まちの話題
12	お知らせ（津波避難訓練〔宮川左岸沿岸部〕 など） まちの話題
1	お知らせ（市・県民税の申告と所得税の確定申告 など） まちの話題
2	お知らせ（いせし健康体操 など） まちの話題
3	お知らせ（住所変更の手続き など） まちの話題

○ インターネット情報発信事業

伊勢市ホームページ

平成24年度から運用を行っているシステムを平成31年度まで契約した（3年間の長期継続契約）。各所属からの情報をいち早く掲載するとともに、利便性の向上及びウェブアクセシビリティに準拠したホームページとなるよう努め、職員向けにアクセシビリティと操作方法の研修を行った。

- ・ページ数…5,184件（平成30年3月31日現在）
- ・トップページ（ホーム/伊勢市）ビュー数
（平成29年4月1日～平成30年3月31日）…1,231,545件
- ・広告件数

9事業所・62件・641,000円（10,000円×53件、12,000円×8件、15,000円×1件）

- ・アクセシビリティ研修の開催

日時 平成29年11月30日（木） 29部署35名出席

広報いせFacebook・Twitter

市政の情報発信補完として、平成29年1月4日から「広報いせFacebook」「広報いせTwitter」を運用している（※TwitterはFacebookからの自動連携による掲載）。

（平成29年4月1日～平成30年3月31日期間中の投稿・閲覧状況）

- ・広報いせFacebook投稿数・・・ 311件
- ・広報いせFacebook閲覧数・・・ 285,235件
- ・広報いせTwitter投稿数・・・ 292件
- ・広報いせTwitter閲覧数・・・ 318,650件

○ 市民相談の実施

毎月、市役所広報広聴課相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、毎月、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を実施した。

相談名	実施日	相談担当者
法律	毎週月曜日 午後1時30分～3時30分（先着8名）	弁護士 5名
行政	毎月第2火曜日 午後1時～ （二見生涯学習センター） 毎月第3火曜日 午後1時～ （広報広聴課相談室） 毎月第4火曜日 午後1時～ （小俣公民館）	行政相談委員 5名
人権	毎月第2木曜日 午後1時～	人権擁護委員 17名
登記	毎月第2火曜日 午後1時～（先着6名）	県司法書士会伊勢支部会員 12名
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～（先着4名）	NPO法人交通事故被害者支援センター相談員 1名
公証	毎月第1木曜日 午後1時～	公証人 1名

項目	区分							計
	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故相談	公証相談		
登記	8件	0件	0件	21件	0件	0件	29件	
家庭	49	0	0	0	0	0	49	
相続	72	0	0	15	0	9	96	
金銭	69	0	0	0	0	1	70	
土地	35	0	0	2	0	2	39	
福祉	2	1	0	0	0	0	3	

交通事故	5	0	0	0	11	0	16
その他	114	2	1	2	0	1	120
計	354	3	1	40	11	13	422

○ 報道機関への情報提供

報道機関との連絡を密にするため、月1回（8月を除く）市長の定例記者会見を実施した。また、適宜市政の情報を提供し、広報活動の充実に努めた。

○ 情報提供のガイドライン

市民と市との行政情報の共有を一層進めるため、「情報提供のガイドライン」に基づき、市民が知りたいであろう行政情報や、市が市民に知ってほしい情報、市民が入手することにより官民協働のまちづくりが期待できる情報などを市のホームページで提供している。

- ・ガイドラインに基づき提供している行政情報

市の基本計画、パブリック・コメントの状況、主要事業の概要、市長記者会見資料、市議会提出案件に関する資料、審議会・委員会などの資料、市の財政状況や予算・決算に関する資料、人事・給与に関する資料、イベント情報など15項目

- ・ガイドラインに基づく提供情報件数（平成30年3月31日現在）…2,091件

○ 出前トークの実施

市民の視点に立った市政の推進を図るため、市民からの依頼を受け、職員が直接地域への説明を行い、市の取り組む事業や施策など質疑応答や意見交換を通じて、これからのまちづくり等について共に考える「ふれあい出前トーク」を実施した。

実施回数（人数） 2回（42名）

テーマ 廃棄物について、転倒予防について など

○ 市民の声システム・市政への提案箱

市民ニーズや意見・要望等を把握し、政策立案に結びつけられるようにするため、市民の声登録システムを有効活用し、また、市政への提案箱でも意見を集約した。

（市政への提案箱設置場所）

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センター

担当部局	件数	受付方法	
		市政への提案箱	ホームページ「市民の声」
総務部	22件	8件	14件

危機管理部	5 件	1 件	4 件
情報戦略局	31	6	25
環境生活部	14	2	12
健康福祉部	23	4	19
産業観光部	28	2	26
都市整備部	32	10	22
検査室	0	0	0
会計課	0	0	0
二見総合支所	0	0	0
小俣総合支所	2	2	0
御薊総合支所	1	1	0
上下水道部	4	1	3
教育委員会	24	4	20
議会事務局	16	0	16
選挙管理委員会事務局	8	2	6
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	1	1	0
伊勢総合病院	3	2	1
消防本部	9	0	9
計	223	46	177
市民の声対象外	6	1	5